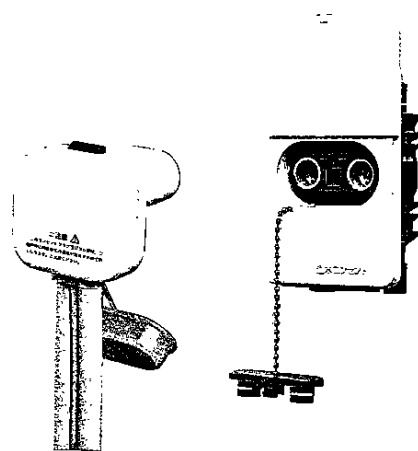


樹脂管用温水コンセント

取扱説明書

型 式 OCH-BE
OCH-OE
OCH-CA
OCH-PE-L

コードNO 49-363~49-369



- ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、もしくは最寄りのガス会社にお問い合わせください。

— ごあいさつ —




このたびは、樹脂管用温水コンセントをお求めいただき、ありがとうございました。この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●警告表示の説明	2
●特に注意していただきたいこと	3
●使用時のご注意	7
●各部の名称	9
●使用手順	10
●日常の点検・手入れ	14
●故障・異常の見分け方と処置方法	15
●保管方法	16
●寸法図と仕様一覧表	17

警告表示の説明

- ご使用前に「特に注意していただきたいこと」の項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 絵表示については次のような意味があります。

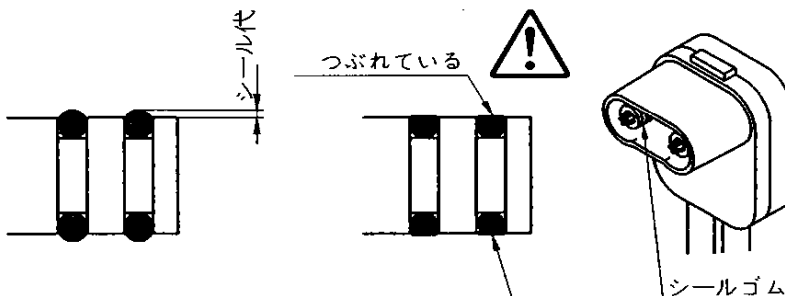
 一般的な注意	 振れるな
 一般的な禁止	 分解禁止
 火気禁止	 必ず行う

注意 特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

温水プラグのシールゴムについて

- ❗ 温水プラグのシールゴムは、水もれを防ぐための大切な部品です。暖房シーズンのはじめには温水プラグを、コンセントに差し込む前に、必ず点検してください。もし、シールゴムの変形が著しかったり、傷やむしれがある場合には、すぐに、お買求めの販売店、もしくは、最寄りのガス会社にご連絡ください。



室外機(熱源機)の注水間隔について

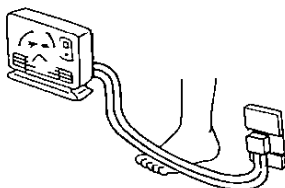
- ① 手動にて、暖房水を補給する熱源機の場合
注水間隔は暖房の使用時間により異なりますが、1~3ヶ月に1回程度です。もし、1週間以内に注水が必要になったり、急に注水間隔が短くなった場合には、どこかで水もれの可能性があります。
- ② 自動補給式の熱源機の場合
暖房水は自動的に補給されます。もし、水もれが発生した場合は、安全装置が働き、暖房運転は停止します。
詳しくは、熱源機の取扱説明書をごらんください。

水漏れの可能性があったり、安全装置が働き、暖房運転が自動停止した場合は、「故障・異常の見分け方と処置方法」(15ページ)により、水漏れ箇所をご確認の上お買求めの販売店、もしくは最寄りのガス会社にご連絡ください。

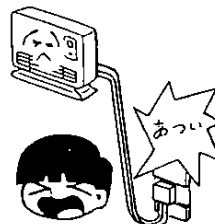
温水ゴム管について

器具(ファンコンベクター等)使用中、温水ゴム管の中は、約80°Cの温水が流れていますので、火傷などのないように充分ご注意ください。詳しくは、放熱器の取扱説明書をごらんください。

- ❗ また温水ゴム管は古くなると弾力性が低下し、温水プラグから抜け易くなります。暖房シーズンのはじめには温水プラグをコンセントに差し込む前に必ず点検してください。
もし温水ゴム管が硬くなっていたり抜けかけたりしている場合には、すぐにお買求めの販売店、もしくは最寄りのガス会社にご連絡ください。
温水ゴム管に足等ひっかかないよう注意してご使用ください。



触れるな



温水コンセントの水処理について

温水プラグを抜いた時少量の水滴(2cc程度)が落ちますが異常ではありません。

- ⚠ 万一故障や誤操作によって水洩れが発生した場合は、まず温水プラグ又は本体キャップを差し込み止水した後15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」を見て原因を確認の上、最寄りのガス会社にご連絡ください。

ⓧ 分解等の禁止

温水コンセントは分解しないでください。

異常等の時はご自分で分解せずにお買求めの販売店、もしくは、最寄りのガス会社にご連絡ください。

⚠ 注意 使用時のご注意

温水コンセントについて

- 温水プラグの差込口に、温水プラグ及び本体キャップ以外のものを、絶対に差し込まないでください。他の物を差し込みますと水(熱水)が飛び出します。又、内面に傷をつけ水洩故障の原因となります。
- 器具をご使用にならないとき、および温水プラグをはずしているときは、必ず本体キャップを差し込んでおいてください。
- お子様温水コンセントにいたずらをしないようご注意ください。

温水ゴム管について

- 温水ゴム管は、規定のものをきちんと差し込んで、ゴム管バンドで止めてください。
- 温水ゴム管には、ヒビ、傷などが無いか確かめてください。
- 温水ゴム管の長さに余裕がある状態でお使いになる場合は、温水ゴム管を折り曲げたり、むりに引っぱったりしないでください。
- 温水ゴム管の長さは片側1.75mを標準としています。長くしすぎた場合は暖房能力が低下することがあります。
- 温水ゴム管は古くなりますとファンコンベクターの接続部などから水漏れがおこりやすくなります。ときどき点検して新しいものとお取り替えてください。ファンコンベクターのとりはずしや温水ゴム管の交換は、お求めの販売店にお申しつけください。(有料)

温水プラグのシールゴムについて

- 温水プラグのシールゴムは、水洩れを防ぐための大切な部品です。温水コンセントに温水プラグを差し込む前に、必ず点検してください。(3ページ参照)
もし、シールゴムの変形が著しかったり、傷や、むしれがある場合には、すぐに、お買い求めの販売店もしくは最寄りのガス会社にご絡確認ください。

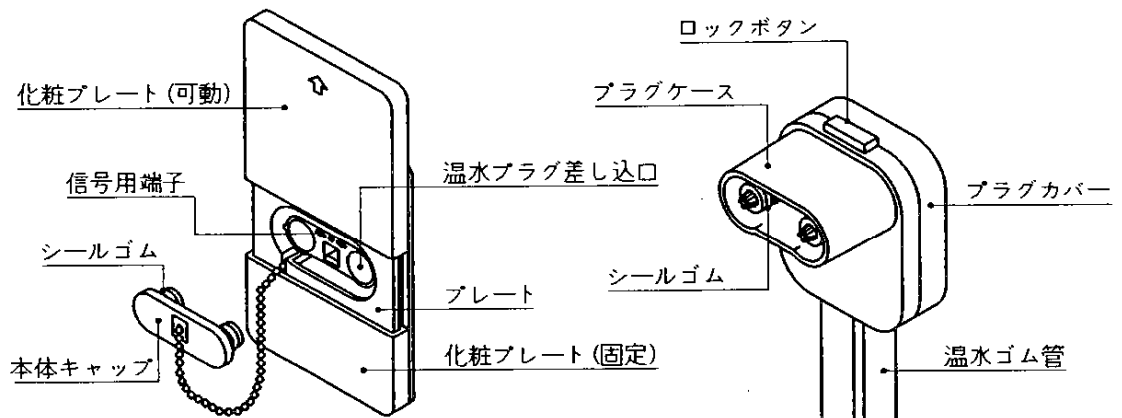
温水プラグについて

- 器具の使用中は、温水プラグも多少熱くなりますので、取り外しの時はご注意ください。又、取り外し後、温水プラグの先端の凸部を押さないでください。(押しますと、温水プラグの弁が開き、温水ゴム管内及び器具内の温水が出ます)

各部の名称

温水コンセント

温水プラグ



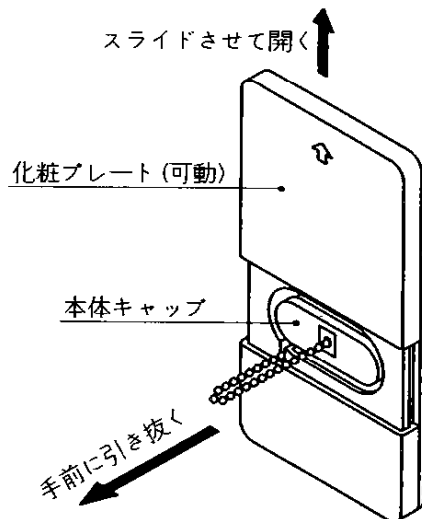
⚠ 使用手順

1. 本体キャップの外し方

- ① 上側化粧プレートを上スライドさせ開きます。
- ② 本体キャップの鎖を持って手前に引き抜いてください。



本体キャップを直接手で持って引張らないでください。必ずくさりを持って手前に引いてください。



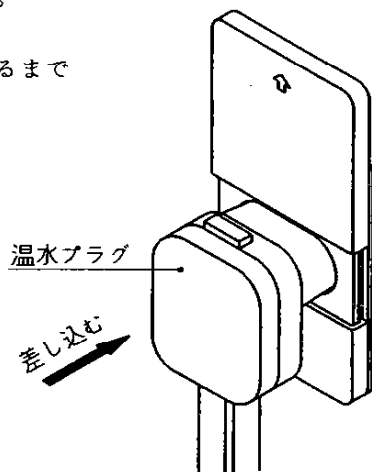
10

2. 温水プラグの差し込み方(器具の接続)

- ① 温水プラグのシールゴムが傷んでいないことを確認します。
(3ページ「温水プラグのシールゴムについて」参照)
- ② 温水プラグを、温水プラグ差込口に、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。



● 温水プラグはまっすぐに、ゆっくりと差し込んでください。
この温水コンセントは、温水プラグを差し込めば、通水します。



11

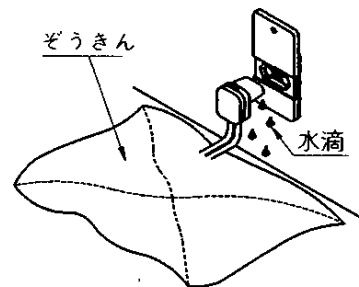
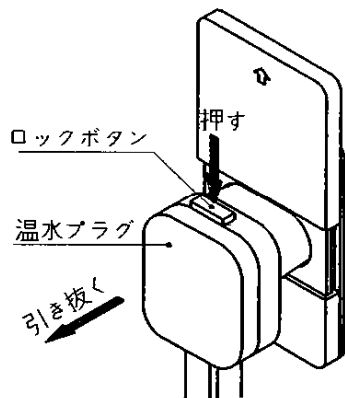
3. 温水プラグのはずし方(器具のとりはずし)

- ① ファンコンベクター等の運転を停止します。
- ② 温水プラグのロックボタンを押してゆっくり引き抜きます。



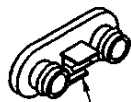
温水プラグを引き抜きますと、少量の水滴が出ますのでご注意ください。異常ではありませんが、ジュタン等汚れて困るものがある場合は、あらかじめぞうきんを床面にあてておくことをおすすめします。

温水プラグを抜いた時、万一故障や、誤操作によって水漏れが発生した場合は、再度温水プラグを差し込んでから抜いてください。それでも水漏れする時は、温水プラグまたは、本体キャップを差し込み止水してから、15ページの「故障の見分け方と処置方法」を見て原因を確認の上、最寄りのガス会社にご連絡ください。

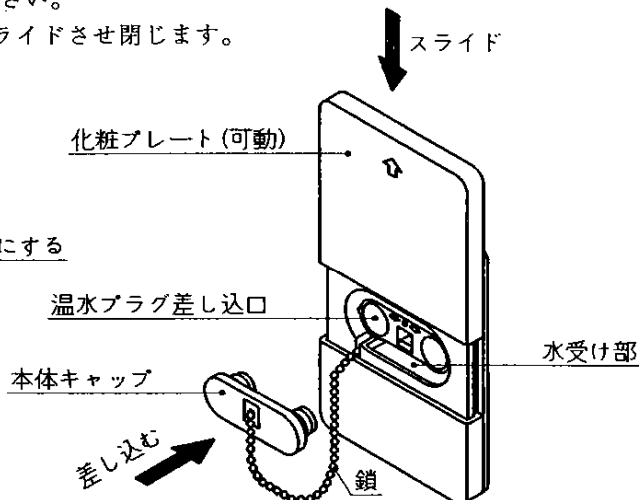


4. 化粧プレートの閉め方

- ① 本体キャップを上下方向を間違わないように注意して、プラグ差込口に奥まで確実に差し込み、鎖りをプレート内の水受部に入れてください。
- ② 上側化粧プレート(可動側)をスライドさせ閉じます。



この突起部を下にする



⚠ 日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、日常の点検以外はお買い求めの販売店または最寄りのガス会社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけれられたときは、お買い求めの販売店または最寄りのガス会社に修理を依頼してください。

点検



点検、手入れ時には危険防止のため全ての放熱器(ファンコンベクター等)を停止状態にします。

- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- 温水ゴム管が古くなってひび割れ、傷がありませんか。
- 温水プラグのシールゴム(Oリング)の変形が著しかったり、傷や、むしれがありませんか。

お手入れ

- 化粧プレート、温水プラグおよび温水ゴム管は乾いた布でよく拭いてください。
- 汚れの激しいときは、中性洗剤を浸した布で汚れをとり、柔らかい布でカラ拭きしてください。



シンナーなどの溶剤は、絶対に使用しないでください。

- 温水コンセントの温水プラグ差し込口水あかを柔らかい布等で拭き落としてから本体キャップをしてください。
- 温水プラグのシールゴム部分の汚れを柔らかい布でよく拭きとってください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならずに、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因	現象	本体キャップ及び温水プラグがはずれない	本体キャップ及び温水プラグがしめ込まない	温水プラグの水抜きが止まる	温水プラグの水抜きが止まらない(本体側)	温水プラグの水抜きが止まらない(温水プラグ側)	本体キャップの鎖り切れの破損	温水ゴム管の接続部から水もれ	処置方法	参考ページ
本体キャップ及び温水プラグの固着		○							本体キャップ及び温水プラグをゆっくりにゆすりながら手前に引き出す。	10 ・ 12
温水プラグ及び本体キャップの不具合			○						点検修理を依頼する。	11 ・ 13
逆止弁までの空間部の少量の水漏(約2cc)				○					異常ではありません。床にぞうり又は乾いた布をあてて温水プラグをゆっくりに引き抜きます。	12
ゴミかみ又は弁の不具合					○				温水プラグ又は本体キャップを差し込み、点検修理を依頼する。	
ゴミかみ又は弁の不具合						○			点検修理を依頼する。	
異常な力及び衝撃による							○		点検修理を依頼する。	
温水ゴム管の老化又は温水プラグとの締付の不具合								○	点検修理を依頼する。	

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店またはガス会社へご連絡ください。

保管方法

暖房シーズンが終わり使用しなくなったときは、下記の手順で手入れをし、保管してください。

温水コンセント本体

- 全ての放熱器(ファンコンベクター等)を停止状態にします。
どこかの放熱器が運転中では温水が流れているため「手入れ」は危険です。
- 温水プラグを温水コンセント本体からはずします。
- 「日常の点検-手入れ」(14ページ)に従って手入れをしたのち、本体キャップを挿入し、化粧プレートを閉じてください。

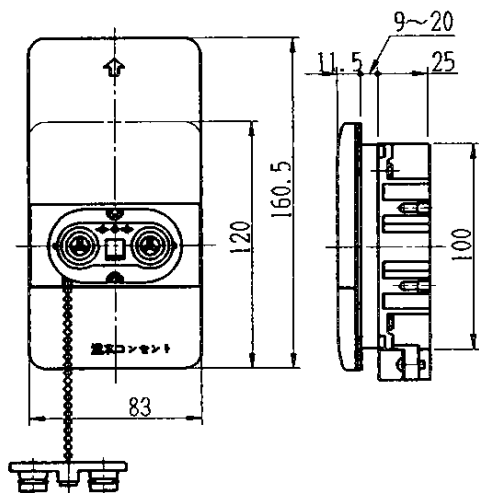
温水プラグ及び温水ゴム管

- 「日常の点検-手入れ」(14ページ)に従って手入れをしたのち、プラグキャップをはめます。ゴム管を30cm程度のループ状に巻き、ビニール袋などに入れて放熱器と共に保管してください。
- 温水ゴム管は、取替え時以外放熱器(ファンコンベクター等)から取外さないでください。取外すとゴム管および放熱器内の水が出てきます。

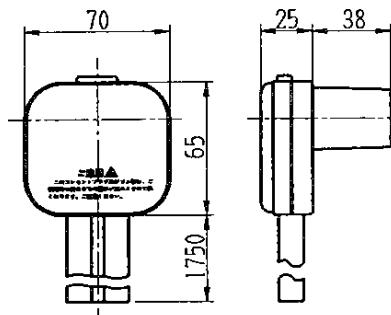
寸法図と仕様一覧表

寸法図

温水コンセント



温水プラグ



仕様一覧表

温水コンセント

項目		仕様	
		7 A	10 A
外形寸法 (mm)	外箱	高さ 100 幅 67 深さ 25	
	プレート	高さ 120 幅 83 厚さ 11.5	
重量 (g)	340		
接続	熱源機側	φ10×φ7 樹脂管	φ13×φ10 樹脂管
	端末機側	専用温水プラグ	
用途	温水暖房専用		
使用可能温水温度	90°C以下		
標準温水流量(ℓ/min)	2.0		
流路抵抗(mAq) (80°C 2ℓ/min時 温水プラグ込往復)	1.0 以下	0.8 以下	
常用耐圧(MPa)	0.196 (2.0kgf/cm ²)		

温水プラグ

項目	仕様
外形寸法(mm)	高さ 65 幅 70 奥行 63.5
接続	温水ゴム管
重量(g)	550 (温水ゴム管込)
使用可能温水温度	90°C以下
常用耐圧(MPa)	0.196 (2.0kgf/cm ²)

製造元 (株)藤井合金製作所

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 15ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度確認下さい。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいは不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、または最寄りのガス会社にご連絡ください。

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	〒550 大阪市西区千代崎3-2-95	TEL(06) 586-3200
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2-2-19	TEL(0722)38-1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町39-6	TEL(0726)71-0361
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2-3-17	TEL(0729)62-1131
兵庫事業本部	〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2	TEL(078)360-3100
京都支社	〒600 京都市下京区中堂寺栗田町1番地	TEL(075)311-7381
奈良支社	〒631 奈良市学園北2-4-1	TEL(0742)44-1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-5	TEL(0734)31-2481
兵庫西支社	〒670 姫路市神屋町4-8	TEL(0792)85-2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6-57	TEL(0796)23-2221
滋賀支社	〒525 草津市西大路町5-34	TEL(0775)62-5311
滋賀東支社	〒522 彦根市大東町12-11	TEL(0749)22-3131
長浜営業センター	〒526 長浜市南呉服町3-4	TEL(0749)62-7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4-1-2	TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社